

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市鶴巻児童館		
2 指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘		
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度 15,986人（前年度比 91.8%）</li> <li>・ 令和2年度 17,418人</li> <li>・ 令和元年度 21,174人</li> </ul>	
	《事業》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</li> </ul>	
5 収支の状況	《費用》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 45,198千円 (42,287千円)</li> <li>・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)</li> </ul>	
	《収入》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入 0千円 (0千円)</li> <li>・ その他収入 0千円 (0千円)</li> </ul>	
6 利用者の声	《実施状況》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</li> </ul>		

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。今年度においては地域との交流事業が多く休止されたが、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	19/19

### 三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》	
<p>地域の協力を得ながら児童と地域が繋がる行事を企画し、地域と共に成長する児童館を運営することができました。また、児童の社会参画、自己実現を図る事業にも多く取組み、主体的に参加する姿勢を子どもたちに育むことができました。</p>	
<p>●児童健全育成事業</p> <p>詩人武田こうじ氏に脚本と演出をお願いし、今年で結成12年目となる子ども劇団「わんにゃんぶう」は、今年はコロナの影響で文学館での公演はできませんでしたが、武田氏とラジオ番組にて発表することができました。また、4年生から中学生までの子どもボランティアを募り、館の主催行事「こどものまち」の企画運営、児童館行事の補助など行い地域のリーダー育成を目的に活動しました。</p>	
<p>●子育て家庭支援事業</p> <p>「スタッフのおはなし会」は、季節の絵本の読み聞かせを行う他、参加した親子に対して児童文化財の面白さを伝えることができました。また、「ほっとカフェ」というサロンを企画し、気軽に参加してもらえるよう実施しました。宮城野区まちづくり推進課主催「はっぴいママ」の企画に取り組み、コロナ禍でも鶴巻地区で安心して子育てができる環境や関わりがもてるよう支援してきました。</p>	
<p>●地域交流推進事業</p> <p>「つるまきハロウィン」では例年と内容を変更し開催しました。近隣の公園やサテライト室でお菓子を配りました。また、子ども達から自宅で仮装した姿の写真を応募してもらい地域の店舗や施設21か所に投票してもらい、結果をお知らせにその後施設に伺うことで子どもたちは満足できた行事となりました。</p>	
<p>●放課後健全育成事業</p> <p>コロナの影響で各家庭には利用自粛のお願いをしたり、登館時の検温、マスクの着用の声掛け、手指消毒をはじめとした感染対策や、密接を避ける座席の配置などを工夫しました。放課後の時間を、子ども達が落ち着いて過ごすことができるよう、職員のスキルを活かし充実した時間になるように工夫することができました。</p>	

《施設設置者（仙台市）による評価》	
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、小中学生の子供ボランティアが3か月間かけて「こどものまち」を企画準備し、当日運営も行うなど大きな達成感を得られる活動となった。小学生対象の事業の一つである「たいやきくんとあそぼう」では、ボードゲームを始めとした様々な遊びを通して、協力して作戦を考え合うことを楽しんだり、創造・表現する楽しさを感じられる機会を作ってきた。「つるまきハロウィン」では、地域の方々に子どもの仮装を写真で披露して審査投票していただき、その結果を子ども達が報告する形で交流を図った。「みんなであそぼう」では地域の資源を生かしたスポーツイベントやミニ4駆大会を企画するなど、児童の健全育成と共に地域で子どもを支援していく環境作りを目指して地域交流に努めている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、乳幼児クラブ「とんとん」で季節の行事や遊びを楽しんだりスタッフによるお話会を開催し、親子で遊びを楽しんだり交流が持てる場を提供してきた。また、関係機関との連携により「はっぴいママ」の企画に参加する等、地域の中で安心して子育てができるよう支援を行っている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、生活や遊びの中で学年を超えたグループの活動を取り入れ、その中で出される子どもの意見を実現できるよう支援したり子どもが主体的に運営できるように環境を整えている。異年齢活動の中で社会性も育まれている。</p>	S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課